



## わがまち安全探検隊～矢田北小学校～

5月7日（木）・8日（金）、矢田北小学校5年生の子どもたちと、「わがまち安全探検隊」事業を行いました。

1日目は、子どもたちがグループに分かれ、小学校区のまち探検を行い、危険と思われる場所や安全な場所など、気づきをたくさん見つけることができました。

2日目には、まち探検での気づきをもとに、「どんな危険があるか」「どうしたら危険でなくなるか」「どのように感じたか」など、子どもたちの目線で感じたことを書いていながら、安全マップを作製しました。

この事業は、まち探検をすることで地域の状況を把握し、子どもたちにとって危険と思われる場所（入りやすく見えにくい・怪我をしそうなど）や、安全な場所（入りにくく見えやすい・子ども110番など）を見つけることにより、「子どもたち自身の危険を回避する力を高める」ことを目的としています。

この2日間の活動から、矢田北小学校5年生の子どもたちの「危険を回避する力」が少しでも向上していることを期待しています。



### わがまち安全探検隊事業 今後の予定

矢田北小学校  
わがまち安全マップ配布（10月ごろ）

南田辺小学校  
まち探検・安全マップ作製（11月ごろ）

自転車前かごのひったくり防止カバー取付け・自転車シリンダー錠の鍵へ取替え・・・。  
区役所安全キャンペーンは 7月17日（金）午後4時～ です♪♪

## ラビット防災通信 ㊟自助・共助・公助とは

大地震などの災害時に、被害を少なくするキーワード「自助」・「共助」・「公助」という言葉をご存知ですか？

「自助」とは、自分自身を守る行動で、日頃から災害に対しての備えが大切であり、家具の転倒防止金具の取付、備蓄品の用意、家族間での連絡方法などが挙げられます。

「共助」とは、地域や身近にいる人同士が助け合う行動で、自分の家族だけでなく、隣り近所、町会や自治会単位で被災した人を救助し、助け合っていくことをいい、「公助」とは、区役所、消防、警察、自衛隊など公的機関による救助・救援活動のことをいいます。

災害が起きた時は、「自助」・「共助」が大切で、地域で協力して被害を最小限に抑えたり、被災した人を救助したり、一緒に避難所に行くなどが必要となります。

阪神大震災においては、「自助」・「共助」・「公助」の割合が「7：2：1」であったと言われており、「自助力」「共助力」を高めるには、日ごろから実施されている地域での防災訓練を活用し、老若男女を問わず積極的に参加することで地域コミュニティを形成していこう。